

第 2 回

第Ⅳ期

ホームレスの自立支援等に関する

推進計画策定委員会

(令和元年11月5日会議録)

午後2時00分開会

○**岡部委員長** 本日はお忙しい中、第Ⅳ期ホームレスの自立支援等に関する推進計画の第2回策定委員会にご出席いただき、まことにありがとうございます。

時間となりましたので、始めさせていただきます。

前回の策定委員会では計画案の内容を検討しました。それに皆様からのご意見シートの一部を盛り込んだものを素案として、9月15日から10月15日までパブリックコメントによる意見公募を行いました。

本日の会議はそのパブリックコメントの結果等を確認し、策定委員会の検討結果として区へ提示したいと考えます。時間が限られていますので、皆様のご協力をお願いいたします。

まず、定足数と会議成立について確認いたします。

事務局、お願いします。

○**生活福祉課長** 本日、皆様の机上に配付しました、第Ⅳ期ホームレスの自立支援等に関する推進計画策定委員会設置要綱の第6条第2項をごらんください。

策定委員会は、半数以上の委員の出席がなければ会議を開くことができないことになっています。第Ⅳ期推進計画策定委員会の委員は7名ですので、4名出席で会議成立となります。本日は、金子委員からご欠席のご連絡を事前にいただいています。そのため、6名の委員の方がご出席ということで、会議が成立していることを報告いたします。

また、先ほど岡部委員長からお話がありましたが、第1回策定委員会後のご意見シートにより、委員の皆様からいただいた貴重なご意見については、岡部委員長のご協力も得ながら、可能な限り計画に反映できるように検討したところでございます。その上で、パブリックコメントを実施させていただきましたことに、改めて感謝申し上げます。本日も、限られた時間ではございますが、どうぞよろしく願いいたします。

○**岡部委員長** それでは、次第2の報告に入る前に資料を確認します。

事務局、お願いします。

○**生活福祉課長** 本日の資料は、次第のほかに、事前にお配りした資料が5点あります。

資料1、新宿区第Ⅳ期ホームレスの自立支援等に関する推進計画（素案）のパブリックコメントの実施結果について、資料2、新宿区第Ⅳ期ホームレスの自立支援等に関する推進計画、素案から計画案への主な変更点、資料3、新宿区第Ⅳ期ホームレスの自立支援等に関する推進計画（案）、資料4、新宿区第Ⅳ期ホームレスの自立支援等に関する推進計画、概要版（案）、資料5、第1回会議録。

不足等はありませんでしょうか。もし、お手元にない資料がありましたら、お申し付けください。

続いて、お願いがあります。会議録作成の関係で、録音させていただきますので、ご了解くださいますようお願いいたします。

また、ご発言の際は卓上マイクのボタンを押してからご発言ください。発言が終わりましたら、もう一度ボタンを押してください。よろしくお願いいたします。

○岡部委員長 では、報告に入りたいと思います。

1、新宿区第Ⅳ期ホームレスの自立支援等に関する推進計画（素案）のパブリックコメントの実施計画について。今回のパブリックコメントの結果について、事務局、ご説明をお願いいたします。

○生活福祉課長 それでは、ご説明をさせていただきます。

資料の1、「新宿区第Ⅳ期ホームレスの自立支援等に関する推進計画（素案）のパブリックコメントの実施結果について」をご覧ください。

こちらはパブリックコメントの実施結果の概要をまとめたものになってございます。9月15日から10月15日までの間、パブリックコメントによる意見公募を行いました。9月15日の広報で周知を行いまして、生活福祉課、区政情報課、各特別出張所、各区立図書館におきまして、皆様の意見を公募したわけですが、結果といたしましては、資料のとおり意見等はありませんでした。簡単ですが、報告は以上でございます。

○岡部委員長 ただいま事務局より、パブリックコメントの結果について報告、説明がありました。この件について、ご意見やご質問はありませんか。よろしいでしょうか。なければ3の議事に移ります。

（1）新宿区第Ⅳ期ホームレスの自立支援等に関する推進計画（案）について、事務局、ご説明をお願いいたします。

○生活福祉課長 それでは、ご説明させていただきます。

資料2、「新宿区第Ⅳ期ホームレスの自立支援等に関する推進計画 素案から計画案への主な変更点」こちらをご覧ください。

こちらが計画案へ、素案から何を変更したかという表になってございます。お手数ではございますが、資料3の計画（案）の該当ページと合わせてご確認いただきながら、ご説明をさせていただきたいと思います。

前回の委員会で素案をお諮りしたときには、最新の東京都内の路上生活者概数調査について

ては、平成31年1月現在の調査結果が公表されておりました。その内容を反映させていただいておりました。その後、10月24日に令和元年8月の概数調査結果が公表されました。したがって、そのデータを反映させているというところが一番大きな変更点になってございます。

計画（案）の1ページをお開きいただきまして、一番下の行の部分ですけれども、こちらが今申し上げましたように、令和元年8月の調査では102人となってございましたので、そのように変更させていただいているところでございます。

続いて、計画（案）の7ページをお開きください。

こちら10行目の部分ですが、8月の調査結果が出ておりますので、その内容を反映させていただいたところでございます。

次の8ページ、9ページにつきましては、こちらは国の全国調査になりまして、国の全国調査は1月のみの実施であるため、素案のほうから変更は特にございません。

続いて、10ページをご覧ください。

こちらの概数の一覧表につきましても、8月の調査結果が出ましたので、データの更新をさせていただきました。

続きまして、11ページから14ページにかけましても、令和元年8月の調査結果を反映させていただいております。

次に、23ページのほうをご覧ください。

下の棒グラフのところでございますが、こちらの一番右端の部分に、令和元年8月の調査結果のほうを反映させていただいているところでございます。

次に、54ページをお開きください。

こちらの下段部分の成果のところでございますが、こちら8月のデータが出ましたので、最新の情報に変更させていただいております。

続きまして、その他の部分ですけれども、その他、素案のほうから計画案への主な変更箇所といたしましては、第IV章の資料の部分になってございます。資料の2のほうの四角の表の、さらに下の部分です。※印の部分をごらんいただければと思います。

また、あわせまして資料3の計画（案）の89ページ、こちらをご覧ください。

まず、1番としまして、第IV期の推進計画策定委員会、こちらの内容を追加いたしました。

また、計画（案）の193ページからの8番としまして、新宿区のホームレス事業に関する

事業費等の推移、9番として、第Ⅳ期推進計画の事業と事業主体、対象タイプ一覧表、10番としまして、生活困窮者自立支援法に基づくアセスメント項目一覧、こちらを資料編として追加しております。

また、本日お配りした資料4、新宿区第Ⅳ期ホームレスの自立支援等に関する推進計画、概要版（案）につきましては、素案のほうでは、第Ⅲ期の推進計画からの変更点がわかりやすいように赤色の下線を引いてお示しをしておりましたが、今回の計画（案）のほうでは、それは削除しております。また、素案の概要版の案につきましても、東京都の路上生活者概数調査、こちらの令和元年8月のデータを踏まえまして、文言を一部修正させていただいております。

以上、変更、修正を行った箇所は以上でございます。

○岡部委員長 どうもありがとうございます。

ただいま、事務局より計画書（案）の本文及び概要版の修正について説明がありました。パブリックコメントの意見はありませんでしたが、新たな資料の追記等を行い、よりわかりやすい内容にしたとのことです。この件について、何かご意見等はございませんでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、特にご異議がないようですので、この計画書（案）を最終報告書として、区長へ報告したいと考えます。

それでは、議事の（2）のその他に移ります。

本日策定委員会として計画（案）を報告しましたが、計画の施行や頒布等のスケジュールについて、事務局、ご説明をお願いいたします。

○生活福祉課長 それでは、事務局のほうからご説明させていただきます。

委員の皆様につきましては、本日、計画（案）、こちらをご報告いただきまして、まことにありがとうございました。

この計画（案）につきましては、これから区のほうで手続を行いまして、本年の12月の中旬に第Ⅳ期のホームレスの自立支援等に関する推進計画として正式決定しまして、来年令和2年4月から施行すると、そういう流れで進めていく予定です。

計画の決定後ですけれども、印刷、製本を行いまして、あわせて12月の中旬に議会のほうに報告をいたしました後、計画の決定とパブリックコメントの結果につきましては、12月の中旬以降に広報新宿及び区のホームページのほうで区民の皆様の方にお知らせし、出来た計画書を閲覧・頒布するという流れで進めていく予定でございます。

事務局からは以上でございます。

○岡部委員長 どうもありがとうございます。

その他、何かご質問、ご意見等はございますか。

鈴木副委員長、お願いします。

○鈴木副委員長 新宿寮の鈴木でございます。

資料3の推進計画(案)の32ページでございますが、中段に③自立支援事業(自立支援住宅)という項目がございます。この3行目の「23区の各ブロックに50戸ずつ設置し」という、この50戸ですが、こちらの数字が現行平成31年、令和元年度に30戸に減数されていますので、ここをどうなさるのか。ちょっと数字の誤植か、取り違いかなとは思いますが、この数字の修正だけお願いできればなと思ひまして、意見を述べさせていただきました。

○岡部委員長 それでは、確認を改めてさせていただいて、微調整等がもし出た場合については委員長と事務局で一任させていただければと思います。今のご指摘につきまして、再度確認をさせていただきたいと思ひます。どうもありがとうございます。

それ以外、何かご意見等ございますか。

では、最後となりましたので、委員の皆様、一言ご感想をいただければと思います。私から右回り、まず、鈴木副委員長からお願いいたします。では、よろしく申し上げます。

○鈴木副委員長 新宿寮の鈴木でございます。

今回は貴重な場に参加させていただきまして、ありがたく思っております。

直近の令和元年8月のデータがございますが、実は私ども、自立支援事業として地域巡回をやらせていただいているところですが、切実に思うのは、カウントする概数調査の結果がタイミングによって非常に幅があるのかなと。だから、現行の数字と私が確認している数字と若干23区の状況にもずれがございますが、新宿区というわけではなくて、ほかの区でございますが、ちなみにゼロ人の区がございましたが、私が聞いている範囲だと、最低4、5名はいたはずだと思ひながら、概数調査の数字を見ていました。

タイミングやポイントによっては数字が拾い切れないところが出てくるのかなというのを痛感させられまして、今後の我々の事業展開にも同じようなことが起きないように、もう少し精査して、各区の福祉事務所の窓口、もしくは関係機関、公園課とか土木課などもこの事業に関係してきますので、連携を取りながらやっていきたいなというところでございます。今回非常に貴重な場に参加させていただきまして、ありがとうございます。

○岡部委員長 貴重なご意見をどうもありがとうございます。では、笠井委員お願いします。

○**笠井委員** 私も今回参加させていただき、ありがとうございました。

この新宿のホームレス問題、非常に対策も含めて長く続けられていますけれども、新宿区を筆頭にこの問題に果敢に挑戦して、さまざまな施策を打ち立ててきたことに敬意を表したいと思います。

先ほどの報告ですと、平成16年ぐらいから1,000人ぐらい減っているわけです。ですので、それだけの成果を得てきたということは率直にすばらしいことだと言えると思います。問題はその減った人がどうなったか、いろいろその後の問題はもちろんありますけれども、それはともかくとして、とりあえず路上生活者の方々が路上生活をしなくてもいいような、そういう自治体にしていくというところを目標にしていると思いますので、そこら辺に関しては、これからも引き続き、協力していきたいと思います。

先ほど概数の話がありましたが、概数なんて大体昔からいい加減なものなので、掛ける2.5というのが大体の我々支援団体の数字になっております。だから、これはどう考えたとしても、なかなか東京都の言うようなゼロという方針は恐らく無理でしょう。

それで、もちろん無理だからといって、とりあえず新宿に来られて路上生活をせざるを得ないという人たちは日々多くいるわけですね。恐らくカウントされない人も含めておりますので、そういう方々が日々福祉事務所だとか支援団体のほうに相談で来られるということで、その中で本当に困った方々をしっかりと見逃さずに、しっかりと自立支援という枠組みの中に入れて、それでもう一回社会のほうに再チャレンジできるような、そのような仕組みをこれからもう少しきめ細かくやっていきたいと思いますので、今後ともまたよろしく願います。

○**岡部委員長** 貴重なご意見を、どうもありがとうございます。

では、永井委員、よろしく願います。

○**永井委員** 私もこの委員会に参加させていただいて、本当に参考になりました。最近は大災害があつて、ホームレスの方が避難所に入れなかったとかという話題もあり、いろいろ思うところもありましたけれども、午前中にちょっと生活福祉部会がこの区役所でありましたので、こちらの委員会の内容なども少し報告させていただきました。

中には中央公園の近くに住んでいるけれども、公園には犬の散歩でよく行って、そこでちょっと暮らしているのではないかなという方々とよく話したり、お友達に近いような感じで付き合うこともありますというような方もいらして、それなら、そういうふうに住らしていればいいのかという問題をやはりみんなでよく考えていかなきゃいけない。憲法でしっか

りと国民としてここに幸せに暮らすことを保障されているのだから、やはりその方向にみんなが考えて持っていかなければいけないというようなことをみんなで話したりしました。

人権を守るというのはどの人も等しいものなので、やはり人の尊厳の問題なので、丁寧に考えていかなければいけないし、社会でもそういうことを認めていきたいというようなことはありました。

しかし、現実問題として、災害のときに避難所に行って、ホームレスの方が来て、自分の隣と一緒に寝ることになったら少し嫌かもしれないというのは、ご近所の人からも、そのような話が出ていました。男性の方でも、夏に道を歩いていたら、そういう方が道端にいたけれども、そばを通ったら本当に臭いという人もいます。しかし、そういう人が全てではなくて、先ほど言った公園でお友達になるような方は、みんなきちんとしているという方もいらっしゃるのです、それぞれ生き方としてはあるのだと思うのですが、やはりきちんとした住居を持って、自分が生きたいように生きられるのが本当だと思うので、社会全体でそういう目で、協力していけるといいなというふうに感じております。ありがとうございました。

○岡部委員長 貴重なご意見を、どうもありがとうございました。

山田委員、よろしく願いいたします。

○山田委員 町会連合会の山田です。

今回、パブリックコメントで意見提出者なしということだったので、やはりこの計画（案）の完成度が非常に高かったのかなと、うれしく思っています。ただ前回の会議のときにも少しお話ししましたが、なかなか地域の住民の方にホームレスに関しての情報と、理解がまだまだされていないのが現状ですので、今回この計画（案）が決定されて、方向性といいますか、決まった段階で町会連合会等の会議でご紹介したいなというふうにも思っていますので、できれば町会連合会事務局のほうにお願いして、各町会長さんにお話ししたいなと思っていますので、よろしく願いいたします。

以上です。ありがとうございました。

○岡部委員長 貴重なご意見を、どうもありがとうございます。

では、佐久間委員、お願いいたします。

○佐久間委員 ふるさとの会の佐久間です。

今回はこういった機会を与えていただきまして、どうもありがとうございます。

私も何度かこの委員会に出させていただいて、新宿区は本当に先駆的というか、いろんな立場の皆さんが集まって意見を出していると思います。また、自治体によってかなり条件や

利用者像も変わってくる中で、このような形でホームレス支援の施策をずっとされてこられたということに、私も改めて敬意を表したいと思います。

その中で、私たち支援団体でも微力ながらできるようなことということこれからも考えていきたいと思っています。

施策が、国、東京都、もちろん新宿区も含めて、かなり進んできて、成果が出ていると感じています。ただ、もう一步、社会がこれからどのように変わっていくのかといった際に、たとえば、ホームレスの数は減ってきているとしても、計画に対するこのような議論を継続するというか、ある意味で手を緩めないというか、これはとても大事なことだというふうに考えています。

いろいろな変化に対応しながら、施策を推進していくためには、このような場がやはり大切になってきます。概数の話もありましたが、この数自体もどのように変わっていくかというのは、まだ実際わからないのかなというところがありますが、これまでつくってきたことが非常に有効性を持つということもあります。これから、社会状況が変わってきた際に、また、全体で集まり、いろいろな役割分担をしながら果敢に問題に取り組んでいくということ、そのようなことを継続して、このような場に参画させていただけたらありがたいなと思っています。今回どうもありがとうございました。

○岡部委員長 貴重なご意見をありがとうございます。皆さん、本当にありがとうございます。

それでは、福祉部長から一言よろしくお願いします。

○福祉部長 皆さん、どうもありがとうございました。

ホームレス数は、平成16年8月のピーク時の1,102人から1,000人減って、令和元年8月には、102人になりました。平成16年当時は、まだホームレスの施策の担当ということではございませんでしたけれども、私は福祉部におりました。平成13年から福祉部におりましたので、その当時の庁舎の様子や様々な取り組みがあり、それらを経て第二分庁舎に移り、そこでさらに相談しやすい環境が整えられました。また、支援団体の皆様とも様々な意見を交換しながら今日に至り、そのような流れの中における成果だと思っております。

この中で、当然のことですけれども、地域を支えてくださっている町連の皆様や民生児童委員の皆様、それぞれがそれぞれのお立場でいろいろと考えて、アプローチをしてくださった成果であると思っております。

この推進計画は策定するのが目的ではなく、これを新宿区の一つの姿勢としてお示しをし、この後どう展開していくかというところが一つのポイントでございますので、また、皆様の

お力添えをいただきながら、新宿区も一緒に歩んでいきたいと思っております。本当にどうもありがとうございました。

○岡部委員長 それでは、私からも一言。

私は、第Ⅲ期の計画のときも委員長をさせていただきました。そのとき、ホームレス自立支援法は時限立法でございまして、このご挨拶をするのもこれで最後になりますというご挨拶をさせていただいたことを記憶しております。

その後、時限立法が、10年延長ということになりまして、それに基づいて今回関わらせていただきました。

私自身、今回お声をかけていただいて、第Ⅳ期の計画に携わらせていただいたというのは非常に光栄に思っております。といいますのは、何人かの委員の方がおっしゃられましたけれども、新宿区は、人間の尊厳、人権、社会正義に基づいて、ホームレスの方への支援というものを考えていらっしゃる、トップランナーの区だと思います。その成果や皆さんの取り組みが現在につながってきています。これは、区民と支援団体、関係機関や団体等のお力のおかげと考えます。

ここでいろいろと皆さんからのご意見をいただくことが、私の活動の力になっています。皆様に、お礼を申し上げたいと思っております。

東京都ホームレスの計画、全国のホームレス実態調査、基本方針に少し関わらせていただいております。その中で新宿区の関わりをいつも念頭に置きながら、貴区の計画とそれに基づく活動を全国に広げていくにはどのようにしたら良いのか、考えてまいりました。

私個人としては、関原部長にまたお会いできたということと、事務局の課長をはじめ、職員の方々の非常に丁寧な仕事ぶりに対し、お礼と感謝を申し上げる次第です。

また、民生委員、町会・自治会の方々は、地域を代表しておりますので、その方々の声を聞けたことも非常によい機会であったと考えております。

そして、佐久間委員、笠井委員、金子委員はホームレス支援等を一貫して行ってこられています。学ぶべきことが多い方々と関わらせていただいたことも、非常にありがたいことだと思っております。

鈴木副委員長は、特人厚での活動の観点から貴重なご意見を発信していただいたのもよかったですと思っております。お礼と感謝を申し上げます。本計画は、部長がおっしゃられたように、PDCAのサイクルで行くとプランのところですので、その後のDCAの取り組みがこれから始まると考えます。

先ほど佐久間委員もおっしゃられたように、東京オリンピックの後の社会・経済の状況というのも少し注視しなければいけないと思っております。新宿区は積極的に取り組みをされておりますので、引き続き、よろしく願いいたします。本当にありがとうございました。それでは、長時間のご審議、お疲れ様でした。

これにて閉会とさせていただきたいと思えます。皆さま、どうもありがとうございました。

午後3時00分閉会